

# ビューポイント

## 高濃度の酸素吸入で末梢循環障害等を改善 高気圧酸素治療

函館中央病院



秋本技士長

「函館中央病院（函館市）では今年9月、高気圧酸素治療装置を新機種に更新し、2台を増台した。同装置は治療装置の中に高い気圧環境を作り、その中で高濃度の酸素を吸入し、体内に生じた酸素不足の状態を改善し、病気の治療に役立てる治療法。臨床工学科の秋本大輔技士長に解説してもらった。

### 酸素不足の細胞に酸素を供給。抗菌作用も

「通常人間は1気圧の中で生活していますが、この治療は2気圧まで上げることが基本的に活用します。100%の酸素を2気圧に加圧することで、大量の酸素を体内に取り込み、手足の先端にまで行きわたらせることが可能になります」（秋本技士長）

なる。また、酸素の抗菌作用による抗菌効果や組織の腫れを軽減させる効果等も期待できるといふ。

適応疾患としては、一酸化炭素中毒やガス中毒、急性末梢血管障害、脳梗塞、頭部外傷、腸閉塞、脊髄神経疾患、網膜動脈閉塞症、突発性難聴、放射線や抗がん剤と併用される悪性腫瘍等が挙げられる。

同病院では突発性難聴の治療で導入するケースが近年特に増加しているという。

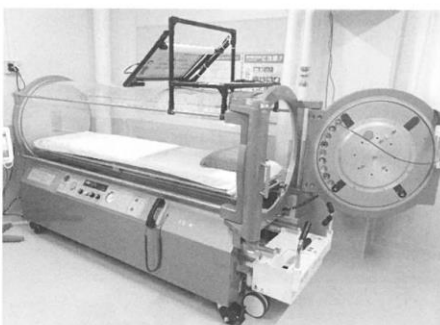
「突発性難聴の原因が不明なため治療が難しい病気ではあります。ステロイドの点滴と併用して高気圧酸素治療を実施し、約半数が治療及び改善に至っています。早期に治療を開始した方が改善率は高い傾向にあります」と早期受診を呼び掛ける。

### 透明アクリル容器の採用で閉塞感を解消

このほか、同病院では脊髄神経疾患や網膜動脈閉塞症、化学療法との併用、糖尿病の合併症による手足の末梢循環障害等で導入するケースが多いという。

治療回数是对象疾患により異なり、10回もしくは30回を限度として実施する。いずれも保険診療が可能だ。ただし、蓄膿症や中耳炎等耳や鼻の病気がある場合や妊婦など、治療の可否について、主治医に相談が必要なケースもある。

以前普及した高気圧酸素治療装置は内部からは外部が見えることはなく、閉所恐怖症の場合は導入が難しいなどのデメリットがあったが、今回導入した装置は透明のアクリル容器を採用し、閉塞感を感ずることはない。



新たに2台導入した高気圧酸素治療装置



内部からテレビを見ることも可能

治療時間は2気圧の場合で、加圧に10分、治療に60分、減圧に10分と合計80分を要するのが基本。患者さんは装置に入れば何もする必要はない。新しい装置は天井側の外部にテレビが設置され、できるだけ快適に過ごせるよう工夫が凝らされている。内部にはマイクが設置され、患者さんは声を出すだけで医療スタッフと会話ができる。

飛行機に乗ると耳が痛くなるのは気圧の変動によるもので、治療時にも同様のことが起こる。そのため事前に臨床工学技士から耳抜きのリクチャールを実行している。

高気圧の環境下にあるため、静電気や火の気のあるものは厳禁で、患者さんは綿100%の治療衣を着用する。眼鏡

や入れ歯、コンタクト、指輪等体に身に着けるものももちろん、マニキュアや化粧品、整髪料等の使用も禁じられている。そのため看護師と臨床工学技士によるダブルチェックを実施。同病院には女性の臨床工学技士も在籍しているため、女性の患者さんのチェックは女性の臨床工学技士が担当している。

また、同病院では装置を2台に増やすにあたり、広いスペースの部屋に移動した。寝たきりの状態で治療を実施するケースもあり、新しい機種はベッドに寝たまま移乗できる構造となっている。「治療環境も大きく改善しており、安心して治療を受けて頂きたい」と秋本技士長は話している。